

事例 1 【認証評価】

基準 7 学生支援

観点 1 : 学生に対する経済面の援助が適切に行われているか。

【現状の説明】

本学では、奨学金に関する情報を収集し、情報の一元化を図った上で、学生に掲示板等を使って提供している。奨学金の獲得実績（全学年）は、平成 20 年度の 1,225 件から平成 24 年度の 1,283 件へと順調に増加している（資料 1 : 奨学金の獲得状況 [全学年]）。

また、本学独自の授業料免除である「評価大学特待生制度」については、入学試験時の成績優秀者を対象に実施しており、授業料免除者の推移は以下のとおりである（資料 2 : 授業料免除者の推移）。

資料 1 奨学金の獲得状況 [全学年]

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
奨学金獲得件数	1,225	1,321	1,012	1,281	1,283

資料 2 授業料免除者の推移 (名)

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
日本人向け入試 (推薦・一般)	10	10	15	15	16
私費外国人 特別選抜	3	8	5	5	5

【分析】

奨学金に関する情報について、様々な方法を用いて学生に周知しており、奨学金の獲得実績が上がっていることから、経済的支援が行われている。また、学生のニーズについては、随時学務課の窓口で対応しており、学生サービスの充実に努めている。

評価大学特待生制度について、平成 20 年度入学者向け入学試験分での授業料免除者は 10 名だったが、平成 24 年度入試分での授業料免除者は 16 名と、160%増しとなっており、支援を充実させている。

以上のことから、学生に対し、適切な経済的支援が行われていると判断できる。

■参考資料

大学評価・学位授与機構：

「大学機関別認証評価 自己評価実施要項（平成26年度実施分）」（p.48）

【基準】

基準7 施設・設備及び学生支援

7-2 学生への履修指導が適切に行われていること。また、学習、課外活動、生活や就職、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が適切に行われていること。

【観点】

7-2-⑥ 学生に対する経済面の援助が適切に行われているか。

【留意点】

- 奨学金制度等に関する情報の学生への周知状況について分析。
- 奨学金制度等の整備状況に加え、利用実績等について分析。
- 経済面での援助に関する学生のニーズが把握されていれば、その資料・データを用いて分析。
- 例えば、奨学金（給付、貸与）、授業料免除、学生寄宿舍等が考えられるが、これらはいくまでも例示であり、各大学固有の事情等に応じて学生の経済面の援助が適切に行われているかについて分析。
- 留学生に対して、特別の援助を実施している場合については、その実施状況を分析。
- 大学院を有する場合は同様に分析。

【根拠となる資料・データ等例】

- ・ 日本学生支援機構奨学金等の利用実績が確認できる資料
- ・ 大学独自の奨学金制度等を有している場合は、その制度や利用実績が確認できる資料
- ・ 入学料、授業料免除等を実施している場合は、その基準や実施状況が確認できる資料
- ・ 学生寄宿舍を設置している場合には、その利用状況（料金体系を含む。）が確認できる資料
- ・ 各種支援制度の学生への周知方法（刊行物、プリント、掲示等）が確認できる資料
- ・ 上記のほか、経済面の援助の利用実績が確認できる資料
- ・ 学生のニーズの具体的事例等

大学基準協会：

「大学評価ハンドブック 2014（平成26）年度申請大学用」資料2（p.78）

【基準】

6 学生支援

【点検・評価項目】

（2）学生への修学支援は適切に行われているか。

【評価の視点】

- ・ 留年者および休・退学者の状況把握と対処の適切性
- ・ 補習・補充教育に関する支援体制とその実施
- ・ 障がいのある学生に対する修学支援措置の適切性
- ・ 奨学金等の経済的支援措置の適切性

日本高等教育評価機構：

「平成 25 年度 大学機関別認証評価 受審のてびき」(p. 19～20, 28)

【基準】

2-7 学生サービス

【評価の視点】

- ① 学生生活の安定のための支援
- ② 学生生活全般に関する学生の意見・要望の把握と分析・検討結果の活用

【自己判定の留意点】

- ・ 学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能させているか。
- ・ 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。
- ・ 学生の課外活動への支援を適切に行っているか。
- ・ 学生に対する健康相談、心的支援、生活相談等を適切に行っているか。
- ・ 学生サービスに対する学生の意見等をくみ上げる仕組みを適切に整備し、学生サービスの改善に反映しているか。

【エビデンスの例示（評価の根拠となる事実）】

- ・ 学生相談室、医務室等の利用状況を示す資料
- ・ 奨学金給付・貸与状況を示す資料
- ・ 学生の課外活動等への支援状況を示す資料
- ・ 社会人、編入、転入学生等への支援状況を示す資料
- ・ 学生生活全般についての満足度調査及びその分析結果、あるいは学生から要望を汲上げるシステムに関する資料 …など